

質問書に対する回答

(件名) 関越自動車道 利根川橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質 問 事 項	回 答
1	特記仕様書 P48 仮設備工事費 吊足場工費	橋梁補修用足場の構造はシステム足場を標準としておりますが、本工事で設置する足場は通常のシステム足場「標準型」、「防護型」でしょうか。それとも耐震補強工、構造物補修工でシステム足場の構造（クイックデッキ等）を考えているのかご教授下さい。	吊足場工費について、特記仕様書及び割掛対象表参考内訳書に記載の内容を想定しています。
2	特記仕様書 P48 仮設備工事費 吊足場工費	構造物補修工でシステム足場の構造（クイックデッキ等）を考えている場合、施工歩掛は特別調査を採用しているのか、それとも標準的な歩掛を採用しているかご教授下さい。また、標準的な歩掛を採用している場合、どの補修作業内容の施工歩掛を採用しているかご指示下さい。 例) 補修作業内容 塗替塗装、床版取替、はく防止対策用	弊社積算基準の「床版補修用」「はく落防止対策用」の適用を想定しています。
3	単価表 項目番号17~(25) 炭素繊維巻立て表面仕上工	表面仕上げ材の種類をご教授下さい。 t=1mm が t=10mm どちらでしょうか。	炭素繊維巻立て表面仕上工Aで使用する材料については、仕上がり厚さ1mm以上となります。なお、材料の品質規定等は構造物施工管理要領を参照ください。
4	特記仕様書 25-10 支承取替工 25-10-2 作業内容	単価表の項目 8) 支承台座部の鉄筋組立、型わくの加工・据付、コンクリート打設の作業内容が記述されておりますが、単価項目のコンクリートA1-5、型わくD、鉄筋Aと違うのかご教授願います。	支承台座部の施工については、コンクリートA1-5、型わくD、鉄筋Aの項目であるため、特記仕様書について訂正いたします。
5	支承取替工	支承取替に使用するジャッキアップ・ダウン時に使用する油圧ジャッキ設備の設置期間（供用日数）をご教授願います。 また、想定されている供用日数と合わない場合には設計変更の対象として頂けるでしょうか。	施工箇所毎のジャッキの設置期間は算出しておりません。 なお、ジャッキ期間については契約条件として指定していませんので、設計変更の対象となりませんので、貴社施工計画に基づき必要な期間で計上してください。
6	支承取替工	利根川橋P2橋脚の鋼製ブラケット設置時には資材搬入用の吊り設備（H形鋼）が参考図として掲載されておりますが、支承取替工で既設支承撤去時・新設支承設置時に使用する機材として油圧ジャッキ設備とクレーン設備以外の機械設備（規格）を想定されているようであればご教授願います。また、想定外の機械設備が必要な場合には、設計変更の対象として頂けるでしょうか。	ジャッキ設備及びクレーン設備を想定しています。 なお、施工条件を指定するものではないため、貴社施工計画に基づき必要な機械等を計上するものとお考えください。 条件変更等により、変更の必要が発生し、監督員が必要と認めた場合、設計変更できるものとお考えください。
7	資材	支承・鋼製ブラケット・落橋防止装置 等の単価は特別調査でしょうか。	支承、落橋防止構造については見積、鋼製ブラケットについては公表している積算基準類の適用を想定しています。
8	資材	支承・ソールプレート・落橋防止装置・鋼製ブラケット用アンカーボルト 鋼製ブラケットに於いては、人件費の高騰・工場間接工事費の増加・運搬費の高騰等で以前と比べ非常に設計価格と実際の製作価格とは乖離が大きくなっておりますが、鋼製ブラケットについても特別調査の対象製品でしょうか。また、設計価格との乖離が激し場合、設計変更の対象として頂けるでしょうか。	支承、落橋防止装置については見積、ソールプレート、鋼製ブラケット用のアンカーボルト、鋼製ブラケットについては、公表している積算基準類の適用を想定しています。 設計価格の乖離による設計変更はできませんが、工事契約後、土木工事共通仕様書1-37 スライド条項の適用基準に記載のとおり、「賃金水準または物価水準の変動」に伴う請求を行うことができます。
9	資材	東川橋（上下線）のA1橋台のソールプレートについて、製造メーカより1枚での製作が不可との連絡を受けております。 2枚構成（支承部とジャッキ部）でないと製作できないことから、機能的に問題が無ければ2枚構成でも宜しいでしょうか？ 又、SS400材で調達不可能な規格厚板が選定されております。設計照査後、調達可能な材質で設計変更して頂けるでしょうか。	設計図面に示す仕様を満足されていれば問題ありません。 SS400材で調達可能な規格であることを確認しています。
10	割掛対象 雑工事費 コンクリート寒中養生費	縁端拡幅工Bコンクリートに割掛対象としてコンクリート寒中養生費が計上されておりますが、工事工程表（概略工程表）での施工時期は利根川橋で4月～5月、東川橋で9月～10月となっており、寒中養生の時期ではないと思いますがいかがでしょうか？ 本工事で見込む場合は、平均シート体内積と寒中養生時期としての平均外気温をご教授下さい。	寒中養生については、東川橋の支承台座コンクリートを対象としており、1月～2月の打設時期を想定しています。 平均外気温については、1月～2月で平均5℃以下を想定しています。 寒中養生費に関する数量は、割掛対象表参考内訳書に記載の通りとなります。
11	撤去工、設置工	排水管、マンホール、耐震連結装置検査路を撤去および設置時には吊足場または枠組足場内での作業でしょうか？ 仮設備工事費で想定されている吊足場または枠組足場の必要期間内に作業できるものとお考えでしょうか？ また、固定足場内での作業ができず、高所作業車での作業となった場合には、設計変更の対象として頂けるでしょうか。	吊足場、または枠組足場内での作業を想定しており、必要期間については、割掛対象表参考内訳書に記載の設置期間を想定しています。 条件変更が発生し、監督員が必要と認められた場合、設計変更できるものとお考えください。